

『星の王子さまとめぐる星ぼしの旅』

川崎市立宮前平小学校三年

岩崎いわさき

乃維のい

ぼくは、この本はいやなことがあったときに読むと元気が出る本だと思います。なぜなら、うちゅうや星のことを知るとわくわくするからです。この本は、星の王子さまがいろいろな星をたんけんして、その星のかいせつがのっけています。読み終わると、うちゅうを旅した気分になります。図かんや絵本とはちよつとちがつていて、どんどん読みたくなる本です。読んでいくうちに星のことがよくわかると思います。

ぼくが一番行きたいと思ったのは、天王星です。巨大氷わく星で、横にたおれたまま回っています。外から見るときれいだから、もっと近くで見たいです。天王星は太陽から二十八億七千万キロメートルはなれているから暗くてすごく寒いと思うけれど、もしロケットに乗って天王星に行けたら、天王星の真ん中にすわってけしきをながめてみたいのです。そして地球は小さな光の点に見えるのかたしかめてみたいのです。

最後に、この本は、絵や写真がきれいなのでながめているだけでも気分がよくなります。この本の一番の特ちょうは、最後のページに星の王子さまと旅ができるすぐろくがあるところですよ。家族や友だちとも遊べて楽しめます。ぼくも家族といっぱいやりました。ぜひこの本を読んで、すぐろくもやってみてください。